

各位

会社名 ジェイドグループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 田中 裕輔
(コード番号：3558 東証グロース)
問合せ先 管理本部ディレクター 高志成 俊
(TEL. 03-5465-8022)

d fashion の改革進捗に関して (速報値)

靴とファッションの通販サイト、LOCONDO.jp (<https://locondo.jp>、以下「ロコンド」)などを運営する①ECモール事業、ブランド様の物流とITのDX支援を行う②B2Bプラットフォーム事業、Reebok JapanやFascinate、MANGOなどのグループブランドを展開する③ブランド事業の3事業を展開するジェイドグループ株式会社(本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：田中裕輔、以下「ジェイドG」)は、2024年3月、マガシーク株式会社(以下「マガシーク」)の株式81%を取得し子会社化してから1年3カ月が経過しましたが、本日の株主総会資料にて、マガシークが運営する「d fashion」の経営改革進捗について触れるため、こちらにて事前開示させていただきます。

マガシークはジェイドGで言うところの①ECモール事業と②プラットフォーム事業を展開しており、①ECモール事業における主要なサービスは株式会社NTTドコモと展開する「d fashion」になります。

社名と同じECモール「MAGASEEK (<https://magaseek.com>)」は当社が株式取得した段階でd fashionの取扱高の半分程度となっており、また、MAGASEEKだけでなくd fashionの売上も下落傾向にあったのが昨年3月のM&Aの背景にもありました。

下のd fashion取扱高の昨年対比グラフにもある通り、3年3カ月前の2022年3月以降、d fashionにおいては昨年対比割れが常態化しており、2023年1月以降は一度も昨年対比を上回る事はありませんでした。この経営改革をすべく昨年6月から物流統合と商品連携の準備を着手しましたが、組織統合に伴う混乱等も生じたため、昨年対比をさらに割る月も続きました。



これら紆余曲折を経ながらも24年11月からは物流統合と商品連携も順調にスタートし、25年3月からはd fashion デーを主とするマーケティング改革やデザイン(UI)見直し等にも着手して参りました。

これら経営改革策が奏功し2024年11月以降は昨年対比も回復基調に転じ、25年4月は昨対比96%、そして今月5月は、**昨日5月28日段階で昨対比109%(同日比、出荷額ベース)で推移**している事をご報告します。

なお d fashion 改革の最終ゴールである「システム完全統合（100%内製化）」に関しては早くて来月 6 月を予定しておりましたが、一部の仕様変更に伴い、完全統合は 25 年 9 月を予定しております。

完全統合ができるようになれば大幅な UI/UX の見直しが可能になるだけでなく、出店ショップ様におきましても色 SKU 単位での細かな販売促進が可能になるため、さらなる取扱高増が見込めます。

今後もロコンドだけでなくジェイド G が運営する様々な EC モールの改善を継続し、さらなる発展を目指します。

以上